

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

カマキリ～園の環境を活かす～／姫路市立御国野幼稚園

昆虫の飼育では、どのようなことを大事にしていますか？

この事例の子どもたちは、卵から孵ったカマキリを身近で飼い、後に自然に戻してから興味をもち続けます。カマキリが自然の中で育つ過程を観ることで、新たな気付きや興味を深めていく子どもたちの姿をご紹介します。



● カマキリだ！／5歳児

- 園の周りには、山や川、田んぼなど自然がたくさん残っている。子どもたちは家で、虫やカメやザリガニなどの小動物を捕まえては、園に持ってくる。

✦ 6月5日

- Aちゃん「家のところにたくさんカマキリの卵があるから持ってきた」と言う。すると友達が、「知っとう」「これが、カマキリの卵？」と好奇心をもって集まってくる。

保育者の援助と環境構成

「卵なんや」「どうなるんやろね」と子どもと一緒に興味をもって見る。
Aちゃんの保護者「もうすぐ生まれそうなので持って帰ります」



✦ 6月6日

- 翌日「昨日、生まれた」と言って、Aちゃんが家から生まれたてのカマキリを持ってくる。
- うわぁー、たくさんいる」「見せて」と言いながら子どもたちが数名で見ている。「動いてる」「小さいなー」「手が動いとう」「足も見える」「小さいけどカマキリや」「すごいなー」などと感じたことを言う。

保育者の援助と環境構成

「すごい！たくさん生まれたね」と感動する。「動いてるね」「小さいね」などと子どもの言葉に共感する。必要な時に使えるように虫メガネを置いておく。カマキリの図鑑や絵本を環境に置いたり、読み聞かせをしたりする。

- 「虫眼鏡で見るともっと見えるよ」「見せて、見せて」と集まってくる。
- 「わぁ、見える」「目がある」「顔も動いた」
- 「幼稚園で飼おう」と、いうことになり、飼育を始める。



保育者の援助と環境構成

「飼おう」と受け止める。「でも何、食べるの?」「このままでいいの?」と、子どもと話し一緒に考える。



6月9日

- 机の上を見て「何か、おる」「カマキリの赤ちゃんや」「ちょっと大きくなってる」「逃げた」「捕まえよう」と大騒ぎ。
- 「それ（蓋）、いいね」「今は、見てるから大丈夫だけど、（蓋）見れないときにして!」

保育者の援助と環境構成

「どうして、逃げるのかな?」と一緒に考える。「昔、こんなことしたよ」とガーゼで蓋をする方法を伝える。

6月10日

- 翌日も隙間から、逃げてしまった。「何か、いい方法はないかな?」と考え、大きな器を二重にする。

保育者の援助と環境構成

子どもの要求に応じて、素材を用意する。

6月11日

- 翌日も逃げ出す。「いなくなってしまう」「逃がしてあげよう」と、友達と相談する。「また、帰ってきてね」と園庭に放す。

保育者の援助と環境構成

どこがいいか、考えるように話し合いを見守り、餌のある、敵から見えない園庭に放すようにする。



6月12日

- 「昨日逃がしたところに見に行こう」と友達同士誘い合う。
- 「おった!」「また、大きくなってる」「明日も見に来よ」と成長を楽しみにしている。

保育者の援助と環境構成

自分たちが逃がしたカマキリの成長を楽しみにしているので、保育者も「明日が楽しみね」と楽しみにしている気持ちを共有する。

7月

- 「こんなところにいる」と逃がした所からは、いなくなったが園庭でも見かけることができた。

保育者の援助と環境構成

子どもたちと一緒に捜し、見付けたことを共に喜び、大きくなっていることを確認する。



9月

- カマキリを見付け「茶色かったな。緑になるのかな?」「このカマキリ、細いよ」「こっちは、お腹が大きい」などと捕まえてはよく観たり、気付いたことを友達や保育者に伝えたりする。そして、話し合い逃がしている。

保育者の援助と環境構成

「いつでも観ることができる」と思い逃がしている姿を受け止め、継続的に観察できるようにしくいく。よく観察していることや気づきを認めていく。

✦ 考察

- 子どもたちは、カマキリの一つの卵から数え切れなくらい多くの赤ちゃんが誕生したことに驚きを感じた。興味をもち「育てたい」という気持ちはあったが、餌の確保が難しく、小さな隙間から逃げてしまうので、飼うことより園庭で成長を見守ることを選択した。園庭は、カマキリが成長できる餌や隠れる場所があったので、成長していく姿を観察できた。子どもたちは、現在、大きくなったカマキリを見付けること、捕まえてよく観ることを楽しんでいる。大きな鎌や羽を広げて飛ぶ様子に歓声を上げている。命の輝きを直接体験できたことが、カマキリを大切に思う気持ちへとつながっていると思われる。
- 保育者は、カマキリの飼育の仕方を子どもと図鑑などで調べ試すが、うまくいかなかった。しかし、園庭は、自然の中で育つ過程を見ることができる環境があることが分かった。このような環境を生かした保育を考えていくことを学んだ。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」